

プラス記事 9%増、ニュートラル・マイナス記事 17%増 自動運転技術の提携報道が増加 ドンキがユニーを完全子会社化

10月度のプラス評価は83億5090万円、ニュートラル・マイナス評価は48億385万円だった。前月と比較するとプラス換算値は9%増、ニュートラル・マイナスは17%増だった。10月は、自動車と通信大手の業務提携や小売りの資本提携など、事業再編関連で換算値が増加した企業がランクインした。

1位トヨタ自動車と3位ソフトバンクグループ、12位ソフトバンクは、自動運転による移動サービス事業での提携発表が4日夕刊から記事化された。自動車では、5位ホンダも自動運転のライドシェアサービス向け専用車をGMと共同開発するとの発表が4日の全紙に掲載され、自動運転技術開発をめぐる各社の活発な動きが相次いで報じられた。

ホンダはほかにも欧州での再生可能エネルギーによるスマートグリッド実験への参加が取りあげられるなど、「技術」の換算値比率が44%を占めた。

提携関連では、7位ドン・キホーテが13位ユニー・ファミリーマートホールディングスの事業会社であ

るユニーの全株式を買い取り完全子会社化することが報じられた。

ほか小売りでは、17位ファーストリテイリングが物流倉庫の自動化を全世界で進めることを明らかにし、すでに実施済みの有明倉庫では省人化率90%、出荷時間最短15分を達成したことが注目された。

18位イオン（ジャスコ）は食品スーパー事業を地域別に再編・統合すると発表。日経は「人手不足やネット通販など異業種との競争激化などの課題に、これまでの『分権』から『集中』体制へとかじを切り対抗する」と解説した。そのほか、フジテレビとの海外コンテンツ事業での提携や四国最大スーパーのフジとの資本提携なども報じられた。

14位小野薬品工業は、京都大の本庶佑特別教授のノーベル生理学・医学賞受賞の記事中で同氏の研究をもとに開発したがん免疫治療薬『オプジーボ』が取りあげられて換算値を伸ばし、採録開始以来初めてのランクインとなった。

■プラス記事掲載ランキング

換算値：千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	トヨタ自動車	295,496	ソフトバンクとの提携を発表、自動運転による移動サービスなどで協業へ。
2	ツイッター（米）	236,852	朝日の新聞週間特集でツイッターを利用した若者の自殺対策企画を掲載。
3	ソフトバンクグループ	170,294	トヨタと移動サービス事業で提携、新会社設立を発表。「提携・合併」82%。
4	JR東日本	156,433	日経「鉄道の旅」でカフェ&スイーツ列車「フルーティアふくしま号」を紹介。
5	ホンダ	136,936	GMと自動運転の技術開発で提携すると発表。「技術」44%、「商品」38%。
6	日立製作所	135,466	次世代小型原子炉をGEと共同開発すると読売が報道。「技術」42%。
7	ドン・キホーテ	132,260	ユニー・ファミマHDと提携強化、ユニーを完全子会社化。「提携・合併」73%。
8	NTTドコモ	122,233	携帯電話の料金プランを2019年度にも値下げへ。世界最薄カード型携帯を発表。
9	日本郵船	113,663	社員の守谷慧氏と高円宮絢子さまが明治神宮で結婚式。「社員」99%。
10	ゲーグル（米）	109,739	カメラ機能を強化した独自スマホ『Pixel 3』発売へ。「商品」33%、「販売」27%。
11	アマゾン・ドット・コム（米）	106,767	最低時給を米国基準2倍の15ドル以上に引き上げ。「人事」22%、「販売」20%。
12	ソフトバンク	95,631	トヨタと自動運転などの移動サービス事業で提携すると発表。「提携・合併」80%。
13	ユニー・ファミリーマートHD	95,399	ドン・キホーテへ資本参加、子会社のユニー株を売却。「提携・合併」54%。
14	小野薬品工業	94,553	本庶佑京都大特別教授のノーベル賞受賞記事に『オプジーボ』が登場。
15	JR東海	92,083	読売「地球を読む」で葛西敬之名誉会長がリニア中央新幹線計画について寄稿。
16	日本航空	86,936	読売「LEADERS」に赤坂祐二社長が登場。ほか退職したCAの再雇用など。
17	ファーストリテイリング	83,772	物流倉庫の自動化で人員削減可能に。2018年8月期決算で過去最高益を更新。
18	イオン（ジャスコ）	73,951	食品スーパーを再編し、6地域別に統合すると発表。「経営」37%、「販売」20%。
19	パナソニック	66,642	家電のネット管理システムを刷新、従来の1.5倍の20社製品に対応へ。
20	高島屋	65,723	毎日「街の継承」に東京日本橋再開発についての木本茂社長のインタビュー。